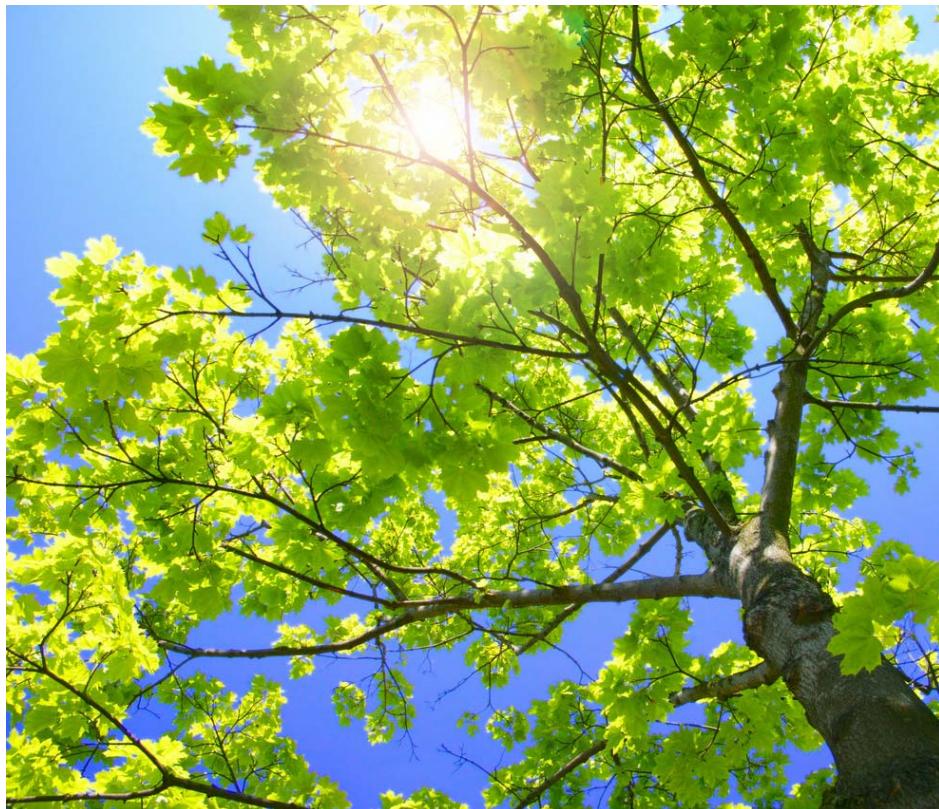


北海道教育大学附属図書館概要

平成24年度(2012年)



北海道教育大学附属図書館

CONTENTS



1 沿革	1
2 附属図書館の年間活動	3
1. 主要事業等の概要	
2. 行事・会議等	
3 組織・運営	7
1. 組織	
2. 図書館運営委員会	
3. 職員数	
4 経費	8
5 施設・整備	9
1. 施設一覧	
2. 施設面積	
3. 設備	
4. 各館平面図	
6 利用案内	13
1. 開館時間及び休館日	
2. 資料の閲覧・貸出	
3. 各種サービス	
7 利用状況	14
1. 利用対象者数	
2. 開館日数	
3. 入館者数	
4. 館外貸出	
5. 参考業務利用件数	
6. 文献複写件数	
7. 図書館相互貸借・文献複写枚数	
8 資料	15
1. 分類別蔵書冊数	
2. 図書受入冊数	
3. 雑誌所蔵種類数	
4. 雑誌受入種類数	
5. 受入新聞種類数	
6. 視聴覚機器保有台数	
7. 視聴覚資料所蔵タイトル数	
8. 電子出版資料	
9. 附属図書館コレクション	
10. 大型コレクション	
9 研修等	18
10 歴代館長・構成(分)館長及び室(事務)長	19
11 関係規則	21

1 沿革

昭和24年 5月	北海道学芸大学設置
25年 7月	附属図書館設置（管理係、整理係及び運営係の3係制） 札幌に中央館、函館・旭川・釧路・岩見沢に分館（図書係の1係制）を置く
27年 8月	附属図書館規程を制定し、図書館協議会を置く
29年 7月	中央館の事務組織を整理運用係及び運営係の2係制に変更
31年 7月	函館分館新築落成 12月 新着雑誌目次速報「学術文献収報」刊行（昭和53年7月、第199号をもって休刊）
32年 4月	中央館の事務組織を総務係、整理係及び運用係の3係制に変更 10月 「洋書目録（昭和26年～昭和30年）」刊行
34年11月	中央館新築落成
36年 6月	岩見沢分館新築落成 10月 旭川分館新築落成
38年11月	釧路分館新築落成
39年12月	「北海道学芸大学図書館報」創刊
40年 4月	函館分館増築落成
41年 4月	北海道学芸大学附属図書館を北海道教育大学附属図書館と改称
42年 4月	附属図書館規程を改正し、札幌分室及び図書館運営委員会を置く 各館において指定図書制度実施（学内予算） 文部省指定図書予算の配分 43年4月 函館分館 44年4月 札幌分室 45年4月 釧路分館 46年4月 旭川分館及び岩見沢分館
7月	「洋書目録－教育編－ 1949～1966」刊行
43年 5月	事務組織規程の改正により、分校図書係を分館図書係に改称
8月	中央館に参考係を設置し、4係制に変更
44年 3月	「和漢書総合目録－教育編－ 1949～1966」刊行
45年 2月	「北海道教育大学図書総合目録－人文科学編－ 1965～1968」 「北海道教育大学図書総合目録－社会科学編－ 1965～1968」 「北海道教育大学図書総合目録－自然科学編－ 1965～1968」 を刊行
3月	「北海道教育大学学術雑誌総合目録1969年版」刊行
46年 3月	「北海道教育大学図書総合目録 1969年版」刊行（以降、1988年版まで毎年刊行）
47年11月	旭川分館新築落成
48年 4月	「北海道教育大学附属図書館目録規則－第1版－」制定施行
50年 3月	「北海道教育大学学術雑誌総合目録 1974年版」刊行
52年 1月	「北海道教育大学附属図書館NDC補充表」刊行 昭和52年度国立大学図書館協議会岸本奨励賞受賞 (北海道教育大学附属図書館における整理業務の合理化・標準化)
6月	7月 北海道教育資料収集整備計画の策定実施 10月 「北海道教育大学附属図書館目録規則－改訂第2版－附：教科書分類規程」制定施行
53年 7月	札幌分室及び岩見沢分館で時間外閲覧業務実施
54年 1月	「教育資料通信」（北海道教育資料収集整備計画広報連絡誌）刊行 (以降、第20号まで刊行)
2月	「北海道教育資料目録」第1集及び第2集刊行（以降、第16集まで刊行）
4月	函館分館、旭川分館及び釧路分館で時間外閲覧業務実施（全館で実施）
55年 1月	岩見沢分館新築落成 2月 函館分館増築落成 3月 「北海道教育大学学術雑誌総合目録1979年版」刊行
56年 3月	「北海道教育大学図書総合目録索引－教育編－」刊行（以降、人文科学編、社会科学編及び自然科学編の順に1989年2月まで年1編刊行）
60年 6月	昭和60年度国立大学図書館協議会賞受賞 (北海道教育大学附属図書館における北海道教育資料収集整備事業)
62年 4月	中央館（札幌分室）新築移転（札幌市中央区南22条から同市北区あいの里へ）
63年 2月	図書館業務の電算化開始（学術情報センターの目録システムに参加。北海道大学図書館システムの端末で学術情報センターとオンライン接続し、図書及び雑誌の目録所在情報データの入力を開始）
平成2年 4月	中央館に図書館専門員配置 3年 3月 「北海道教育大学所蔵逐次刊行物総合目録 1991年版」刊行
4年 4月	学術情報センター I L S システム（電子的手段による図書館間相互貸借システム）の運用開始
5年 4月	土曜日の時間外閲覧業務実施（全館）
6年 8月	釧路分館新築落成
7年 3月	図書館業務用電子計算機システム更新（富士通・ILIS/X-WR） タ CD-ROM サーバシステムの運用開始 4月 日曜日の時間外閲覧業務実施（中央館）

- 5月 オンライン目録検索（OPAC）サービス開始
 7月 目録情報の週及入力開始
 10月 日曜日・祝日の時間外閲覧業務実施（岩見沢分館）
 8年2月 旭川分館書庫増設（電動書架設置）
 4月 祝日の時間外閲覧業務実施（中央館）・日曜日の時間外閲覧業務実施（函館分館）
 10年10月 「北海道教育資料データベース」の構築
 (副読本、記念誌・沿革誌、教科書の書誌データの入力を開始)
 11月 「北海道教育資料収集整備事業実施報告書」の刊行
 11年2月 図書館情報システム更新（リコー・LIMEDIO（UNIX版））
 (閲覧管理業務、図書・雑誌受入管理業務の開始)
 タ CD-ROM サーバシステムの更新
 タ 「第Ⅱ期北海道教育資料収集整備計画」の策定
 11月 北海道教育大学創立50周年並びに大学院修士課程完成を記念し、「北海道教育資料展」を開催
 13年1月 中央省庁等の再編により、文部省は文部科学省となった。
 3月 ブックディテクション更新（中央館）
 4月 文献複写料金徴収猶予電子的申請・許可システムの導入
 タ 平日の時間外閲覧業務時間の延長実施（中央館、函館分館、旭川分館）
 タ 文献画像伝送システム導入、10月運用開始
 10月 平日の時間外閲覧業務時間の延長実施（釧路分館、岩見沢分館）
 14年3月 附属図書館の整備について（基本方針）策定
 10月 図書館利用者アンケート実施
 15年2月 図書館情報システム更新（リコー・LIMEDIO（WINDOWS版））
 タ 附属図書館中期目標・中期計画策定
 タ 平日の開館時間の繰り上げ（午前8時30分）実施（中央館、旭川分館）
 3月 ブックディテクション更新（函館分館、旭川分館、岩見沢分館）
 4月 平日の開館時間の繰り上げ（午前8時45分）及び日曜開館実施（釧路分館）
 6月 附属図書館自己点検評価報告（図書館利用者アンケート集計結果）公表
 10月 電子ジャーナル利用に関するアンケート実施
 16年1月 休業期間中の開館日、開館時間の拡大（全館）
 タ 携帯電話版OPACを公開
 3月 自動貸出返却装置導入（3M製）中央館
 タ ブックディテクション更新（釧路分館）
 4月 国立大学法人北海道教育大学設置
 タ 組織改組により分館の呼称を廃止し、附属図書館の構成館を各々札幌館、函館館、旭川館、釧路館、岩見沢館とした。
 タ 組織改組により図書館事務部を廃止し事務局学術情報室とした。
 タ 係制を廃止してグループ制（学術情報グループ）とした。
 6月 大学図書館相互利用サービス加入
 10月 「学術情報の集約化に関する検討会」の報告を受け紀要発行事務を学術情報室で担当することになった。
 17年2月 附属図書館中期目標・中期計画・年度計画を策定
 4月 第Ⅱ期北海道教育資料収集整備計画実施報告書が提出される。
 18年6月 図書館利用者アンケート実施
 4月 利用者サービスの一つであるマイライブラリの運用を開始
 19年3月 附属図書館自己点検評価中間報告書刊行
 4月 無線LANアクセスポイント設置（全館）
 8月 旭川館耐震改修工事実施（～20年3月）
 20年3月 リポジトリシステム導入（DSpace1.4.1（Linux版））
 4月 図書館情報システム更新（リコー・LIMEDIO v7.0）
 6月 北海道教育大学学術リポジトリ試験公開
 8月 図書館学外利用者アンケート実施
 タ 函館館耐震改修工事実施（～12月）
 9月 文献画像伝送システム中止
 10月 図書館利用者（学生・院生）アンケート実施
 21年5月 リポジトリに関するアンケート調査実施
 12月 電子ジャーナルに関するアンケート調査実施
 22年2月 北海道教育大学学術リポジトリ本公開
 4月 Web貸出サービス（北海道内学校（小中学校、幼稚園、高等学校、教育支援学校）教諭対象 郵送貸出サービス）開始
 22年9月 CD-ROM サーバシステム中止
 12月 図書館入館システム導入（全館）
 タ 自動貸出返却装置導入（函館館、旭川館、釧路館、岩見沢館）
 タ 更新（札幌館）
 ブックディテクション更新（全館）
 タ 札幌館1階保存庫に電動書架増設
 23年1月 図書館利用者アンケート実施
 2月 附属図書館資料収書方針策定（館長裁定）

2 附属図書館の年間活動

1. 主要事業等の概要（平成23年度）

（1）図書館活性化プロジェクトの実施

平成20年度から「図書館を元気に」という目的で開始された「図書館活性化プロジェクト事業」（別紙1）を平成23年度も実施した。

初年度から実施している「北海道教育大学附属図書館懸賞論文」は学生の読書意識及び創作意を刺激し、思考表現及びその文章作成能力を向上させる新たな試みとして小説部門を設けた。

（2）北海道教育大学学術リポジトリについて

平成22年2月から公開している「北海道教育大学学術リポジトリ（HUE Repository）」は平成23年度末の登録数は2,210件となった。

（3）中期目標・計画（図書館担当部分について）

平成22年度から実施されている本学「第Ⅱ期中期目標・計画」の図書館担当部分の平成23年度計画は、別紙2のとおり、具体的方策を実施した。また、図書館独自で実施した「第Ⅰ期中期目標・計画（平成16年度～平成21年度）」を附属図書館自己評価専門委員会でまとめた自己点検評価報告書を公開した。（<http://s-opac.sap.hokkyodai.ac.jp/library/jicotenko/jikotenken-2.pdf>）

2. 行事・会議等（平成23年度）

年月日	行事・会議（会場等）
平成23年4月21日	第1回紀要編集委員会（TV会議）
平成23年4月21日	第43回国立大学図書館協会北海道地区協会総会（北海道大学）
平成23年4月23日	第1回北海道地区大学図書館職員研究集会企画委員会（北海道大学）
平成22年5月21日	第2回北海道地区大学図書館職員研究集会企画委員会（北海道大学）
平成23年5月30日	第2回紀要編集委員会（TV会議）
平成23年6月16日	第58回国立大学図書館協会総会（グランドプリンスホテル広島：広島大学）
平成23年6月24日	第3回北海道地区大学図書館職員研究集会企画委員会（北海道大学）
平成23年7月7-8日	第42回国立教育系大学図書館協議会研究部会（大阪教育大学）
平成23年7月6日	第1回図書館運営委員会（TV会議）
平成23年7月22日	第4回北海道地区大学図書館職員研究集会企画委員会（北海道大学）
平成23年7月27-8月4日	図書館実習生受入（北海道武藏女子短期大学）
平成23年8月19日	第54回北海道地区大学図書館職員研究集会（北海道教育大学札幌校）
平成23年8月26日	第61回北海道地区大学図書館協議会総会（日本赤十字北海道看護大学）
平成23年10月6日	第5回北海道地区大学図書館職員研究集会企画委員会（北海道大学）
平成23年10月20-21日	第44回国立教育系大学図書館協議会総会（京都タワーホテル：京都教育大学）
平成23年10月25日	第3回紀要編集委員会（TV会議）
平成23年11月25日	図書館体験学習（附属札幌中学）
平成23年12月1日	第4回紀要編集委員会（TV会議）
平成23年12月21日	第2回図書館運営委員会（TV会議）
平成24年2月1日	平成23年度附属図書館懸賞論文審査委員会（TV会議）
平成24年1月20日	第1回北海道地区大学図書館職員研究集会企画委員会（札幌市立大学）
平成24年3月9日	第2回北海道地区大学図書館職員研究集会企画委員会（札幌市立大学）
平成24年2月28日	第4回北海道教育大学附属図書館懸賞論文優秀賞授与式（札幌校）
平成24年3月5日	〃
平成24年3月16日	〃
平成24年3月22日	〃
	（函館校）
	（釧路校）
	（旭川校）

◎ 平成23年度「図書館活性化プロジェクト」一覧

平成20年度から開始した「図書館活性化プロジェクト」は、図書館の活性化を図り、学生の図書館利用を促進することを目的として、毎年企画し実施しています。(New は新規事業)

プロジェクト名	目的	内容	実施期間	実施館
第4回附属図書館懸賞論文	学生自身による読書意欲・思考・表現の涵養	<p>課題等： ①図書館所蔵の図書を読み、小論文もしくは感想文(3,000字以上)を作成する ②短編小説(5,000字以上)を作成する</p> <p>応募総数：47編 優秀賞：3編(賞状及び副賞：図書カード5万円分) 佳作：4編(賞状及び副賞：図書カード2万円分)</p>	平成23年10月3日～ 平成24年1月9日	附属図書館
学生による選書ツアー	学生が読みたい本を直接書店で選書して推薦コメント等も作成し、図書館に対する興味と意識を高める	<p>実施場所：紀伊國屋札幌駅前店、MARUZEN&ジュンク堂札幌店 参加人数：延べ36名(計6回実施) その他：一般に加えゼミ選書ツアーも開始。 参加者は選書の推薦コメントを作成して、選書図書とともに展示する。</p>	平成23年11月～12月	札幌館
		<p>実施場所：加藤栄好堂三原店、三省堂書店函館営業所川原店 参加人数：延べ12名(計2回実施) その他：参加者は選書の推薦コメントを作成して、選書図書とともに展示する。</p>	平成23年7月	函館館
		<p>実施場所：MARUZEN&ジュンク堂旭川店 参加人数：延べ13名(計2回実施) その他：参加者は図書の推薦コメントを作成して、選書図書とともに展示する。</p>	平成23年11月	旭川館
		<p>実施場所：コーチャンフォーニュースタジオ釧路店 参加人数：延べ17名(計3回実施) その他：参加者は図書の推薦コメントを作成して、選書図書とともに展示する。</p>	平成23年11月	釧路館
		<p>実施場所：MARUZEN&ジュンク堂札幌店 参加人数：7名(1回実施) その他：札幌館と合同開催。参加者は図書の推薦コメントを作成して、選書図書とともに展示する。</p>	平成23年12月	岩見沢館

別紙1

読書指導の達人講座	学校図書館の利用方法及び読書指導に必要な実践的技術の修得機会を提供する	実施場所：札幌館閲覧室内グループ視聴覚室 参加人数：延べ36名 内 容：学校図書館の利用方法、読み聞かせ、ブックトーク、アニメーション及びストーリーテリング等の読書指導 実践内容のワークショップを、1回90分で計4回実施	平成23年11月～12月	札幌館
New 読書会	読書への関心を呼び覚まし、個々の読書体験の共有の場となり、また更なる読書へのきっかけともなる活動を目指す。	実施場所：札幌館閲覧室内グループ視聴覚室 参加人数：15名 内 容：取り上げた作品について、参加者の感想、意見、印象等の交換の場として、講師が整理やコメントを行なながら進行する。参加者同士が自由な意見を述べたり、読者として共有の話題を深めることができる。	平成23年11月24日（木）	札幌館
ブックカフェ in ASAHIKAWA	本や図書館をより身近なものとして親しんでもらうため、学生ホールでカフェ形式により、講演及び各種イベントを実施	実施場所：学生ホールフリースペース 参加人数：45名 内 容：「夜空を見上げて～星空の楽しみ方」 (ナビゲータ関口朋彦准教授)	平成23年12月	旭川館
New 学生サポートー	図書館利用促進に関する企画や運営補助、図書館サービスの改善アイデア等といったサポートー活動を通じ、図書館の学習支援の充実を目的とする。また、利用者との協働活動によるコミュニティの形成及び、参加者自らの図書館リテラシー能力、コミュニケーション能力の向上を図る。	・図書館改善のためのアドバイス ・学生の意見を取り入れた企画立案、運営及び広報補助 ・学生サポートーによる選書、選書本コーナー等の設置 ・ポスター、チラシ等の作成 ・論文（レポート）作成支援、文献検索支援、PC利用者補助者、ガイダンス補助者としての活動 ・学習支援の具体案の立案		全館

★ 北海道教育大学第Ⅱ期中期目標・計画の図書館担当について

昨年度設定した第Ⅱ期中期目標・計画図書館担当は次のとおりである。

第Ⅱ期北海道教育大学中期目標・計画(図書館担当個所抜粋)

I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標

1 教育に関する目標

(2)教育の実施体制等に関する目標

③ 自学・自習環境を中心に教育環境を充実させる。

○中期計画番号 12

学生の自学・自習を推進するため、図書館の蔵書・学習環境等を整備し、学習支援の場としての図書館を充実させる。

上記中期目標・中期計画のもとに、平成23年度年度計画および具体的方策を次のとおりとした。

○平成23年度年度計画

図書館学生サポーター制度を設け、図書館による学習支援を充実させる。

○具体的方策

図書館利用促進に関する企画や運営補助、学生の目でみた図書館サービスの改善アイデアの提案等を行う図書館学生サポーター制度を設けることにより学習支援の充実を図る。また、昨年度の施策に基づき各構成館で収書方針を定め、収書委員会で図書館に備え付ける図書を選定することにより学習支援の場としての図書館の充実を図る。

平成23年度の年度計画の実施状況は以下のとおりである。

各構成館において、図書館学生サポーター制度を導入し、サポーター自らあるいは職員と協働で各種イベントの企画や活動を行った。それらの企画や活動に学生サポーターが関わることにより、学生の視点を反映させたイベントとなり、利用者である他の学生の関心を惹きつけ、図書館利用が促進されるなど、学習支援の充実が図られた。

図書館学生サポーターによる、「授業で使う文献の充実」、「MS Officeの入ったパソコンの貸出」、「館内の案内表示変更」、「館内持ち込みパソコンの電源用延長コード配備」等、学生の目でみた図書館サービスの改善アイデア案を実現することにより学習支援の充実が図られた。

各構成館で定めた収書方針に従い、収書委員会で図書館に備え付ける図書の選定・収集を行い、学習支援の場としての図書館の充実を図った。札幌館では「表象文化論」や「英語教材」などの特定テーマについての選書、函館館では各専攻及び幅広い分野からの選定、釧路館では釧路校で重視されている環境教育に役立つ図書を中心に選書するなど、各構成館で特色を持たせた選書が行われた。

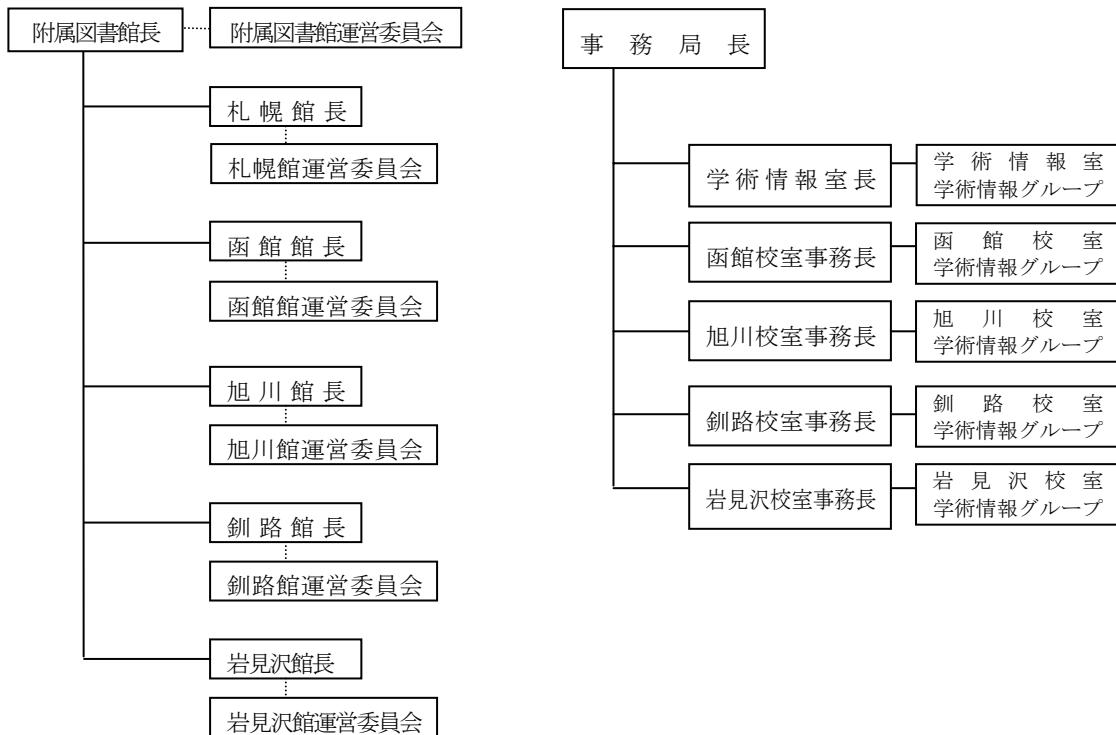
3 組織・運営

1. 組織

平成24年4月1日現在

(1) 附属図書館組織

(2) 事務組織



2. 図書館運営委員会

3. 職員数

構成員	職名等	氏名	任期
委員長	附属図書館長・教諭・副理事	芝木邦也	23.4.1~
委員	札幌館長・教授	西原千博	24.4.1~26.3.31
	函館館長・教授	杉浦清志	24.4.1~26.3.31
	旭川館長・教授	奥山哲郎	23.4.1~25.3.31
	釧路館長・教授	大木文雄	24.4.1~26.3.31
	岩見沢館長・教授	岡嶋恒	24.4.1~24.3.31
	札幌校・准教授	齊藤昌善	24.4.1~26.3.31
	函館校・教授	奥野正義	24.4.1~26.3.31
	旭川校・准教授	千葉胤久	24.4.1~26.3.31
	釧路校・教授	池田保夫	24.4.1~26.3.31
	岩見沢校・教授	南聰	24.4.1~26.3.31

	職員	非常勤職員		合計	時間外開館担当員
		司書・ ※ 司書補	その他		
学術情報室	室長	1	1		1
	副室長	1	1		1
	総括係長	1	1		1
	学術情報グループ	3	3	4	7
	小計	5	1	6	10
					6
函館校室学術情報グループ		2	2	2	4
旭川校室学術情報グループ		1	1	2	4
釧路校室学術情報グループ			2	2	4
岩見沢校室学術情報グループ		1	1	2	5
合計		9	5	14	32

※国家公務員採用中級試験(図書館学)採用者を含む

4 経費

平成23年度(単位:千円)

区分		札幌館	函館館	旭川館	釧路館	岩見沢館	合計
図書館資料費	学生用図書	6,374	3,634	4,206	3,248	2,308	19,770
	参考図書	1,836	293	727	525	297	3,678
	逐次刊行物	国内雑誌	1,533	1,426	1,162	997	771
		外国雑誌	686	756	0	0	1,442
		新聞	531	460	377	362	301
		追録等	26	0	0	34	0
							60
	視聴覚資料	811	730	705	580	476	3,302
	教科書	1,686	455	162	1,459	423	4,185
	電子ジャーナル	2,296	0	0	0	0	2,296
	各種データベース	1,056	0	0	0	123	1,179
	その他の	0	0	0	0	0	0
小計		16,835	7,754	7,339	7,205	4,699	43,832
運営費	物件費	19,210	880	5,776	2,427	4,499	32,792
	印刷製本費	1,445	0	0	0	0	1,445
	賃金・謝金	10,156	6,358	5,427	6,036	5,829	33,806
	その他の	0	484	0	0	134	618
	小計	30,811	7,722	11,203	8,463	10,462	68,661
合計		47,646	15,476	18,542	15,668	15,161	112,493

・研究室購入経費は含まない。

5 施設・整備

1. 施設一覧

	所在地	電話・FAX
札幌館	〒002-8503 札幌市北区あいの里5条3丁目1番6号	(011) 778-0284(ダイヤルイン)(事務室) (011) 778-0288(ダイヤルイン)(閲覧室) FAX (011) 778-7052(レンタル用) (011) 778-0635(図書館事務用)
函館館	〒040-8567 函館市八幡町1番2号	(0138) 44-4228(ダイヤルイン)(事務室) (0138) 44-4231(ダイヤルイン)(閲覧室) FAX (0138) 44-4381(図書館専用)
旭川館	〒070-8621 旭川市北門町9丁目	(0166) 59-1234(ダイヤルイン)(事務室) (0166) 59-1235(ダイヤルイン)(閲覧室) (0166) 59-1236(ダイヤルイン)(閲覧室) FAX (0166) 59-1244(図書館専用)
釧路館	〒085-8580 釧路市城山1丁目15番55号	(0154) 44-3240(ダイヤルイン)(事務室) (0154) 44-3243(ダイヤルイン)(閲覧室) FAX (0154) 44-3244(図書館専用)
岩見沢館	〒068-8642 岩見沢市縁が丘2丁目34番地1	(0126) 32-0238(ダイヤルイン)(事務室) (0126) 32-0240(ダイヤルイン)(閲覧室) FAX (0126) 32-0253(図書館専用)

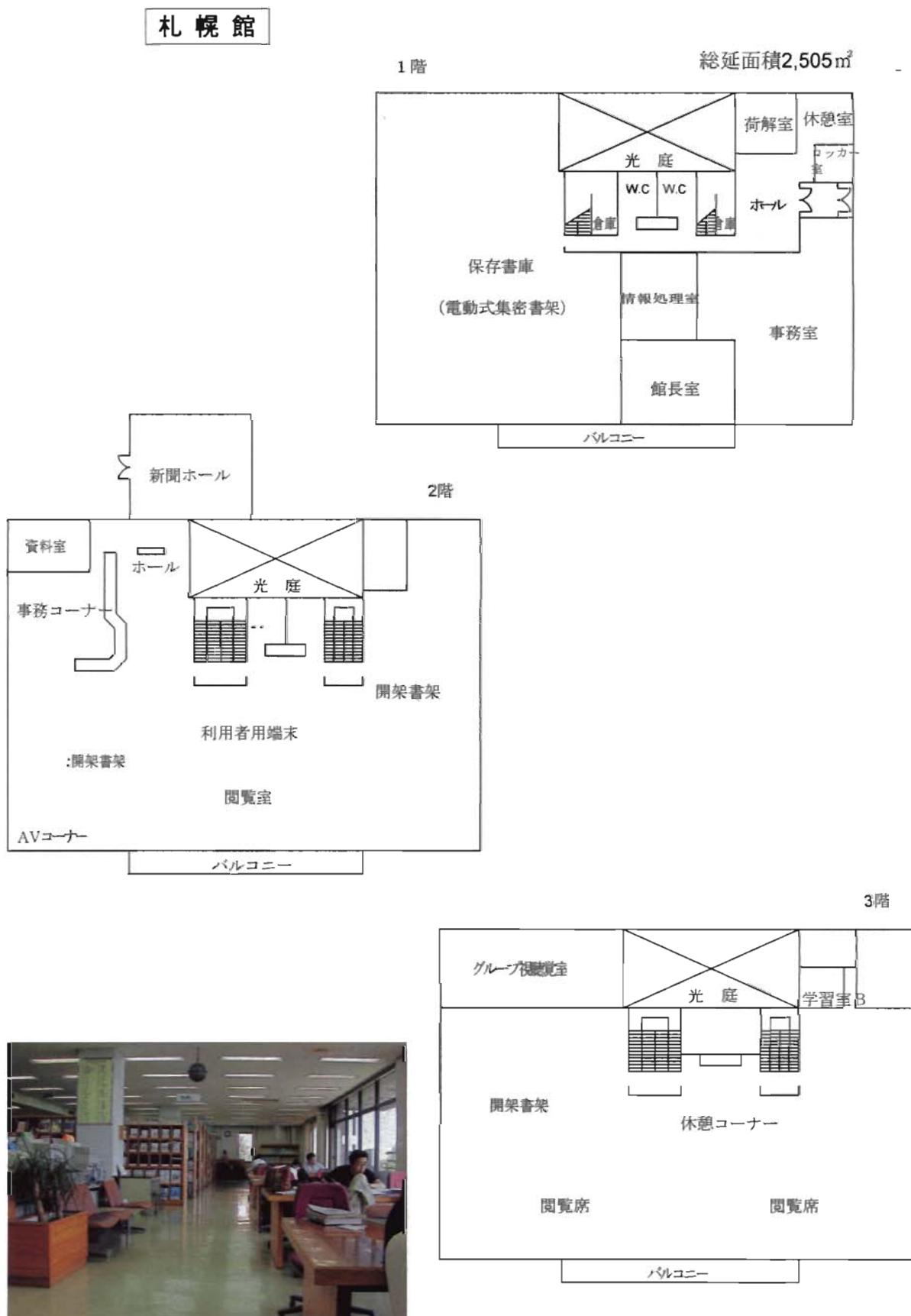
2. 施設面積(m²)

	平成24年4月1日現在						
	閲覧スペース	視聴覚スペース	学習室等	書庫	事務室	その他	計(延面積)
札幌館	1,332	116	76	404	264	313	2,505
函館館	770	28	145	642	99	324	2,008
旭川館	415	34	157	610	76	281	1,573
釧路館	897	37	99	386	77	816	2,312
岩見沢館	553	7	131	214	84	89	1,078
合計	3,967	222	608	2,256	600	1,823	9,476

3. 設備

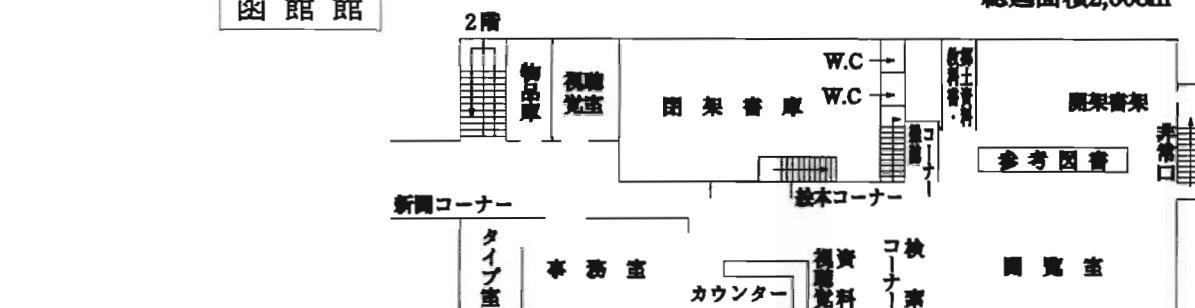
	平成24年4月1日現在								
	閲覧机台数	閲覧座席数	棚板延長(m)	書架収容可能冊数	電動式集密書架	入館管理システム	ブックディテクション	自動貸出返却装置	電子掲示板
札幌館	104	181	10,220	283,900	有	有	有	1	2
函館館	35	144	8,643	240,000	有	有	有	1	2
旭川館	52	138	6,455	179,300	有	有	有	1	2
釧路館	45	132	7,540	209,500	有	有	有	1	2
岩見沢館	41	102	6,046	168,000	有	有	有	1	2
合計	277	697	38,904	1,080,700				5	10

4. 各館平面図



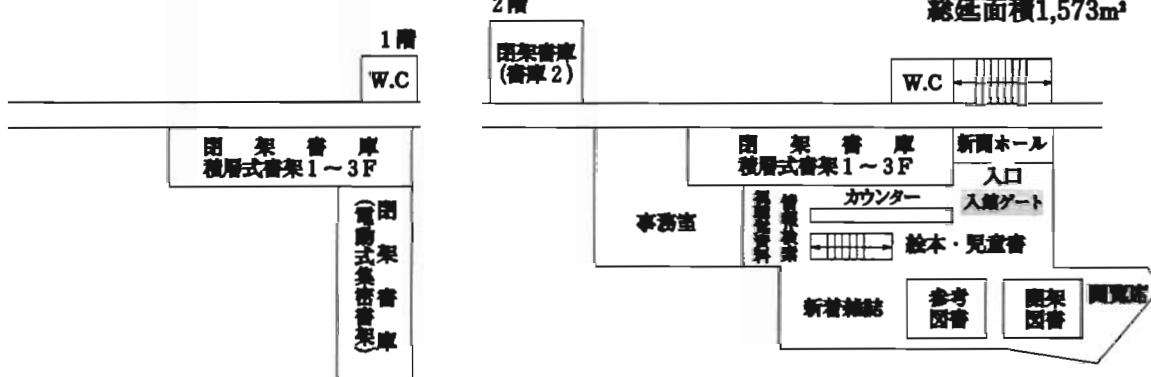
函館館

総延面積2,008m²



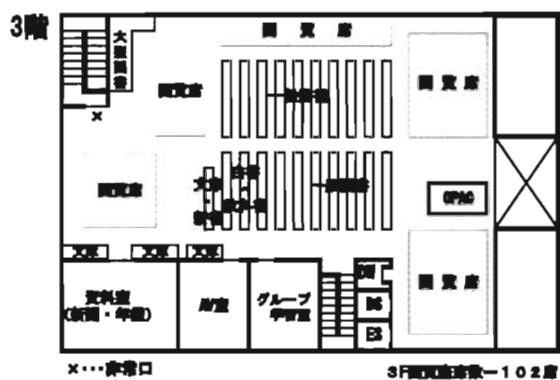
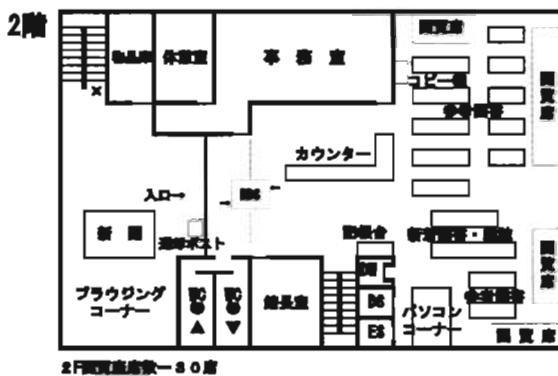
旭川館

総延面積1,573m²



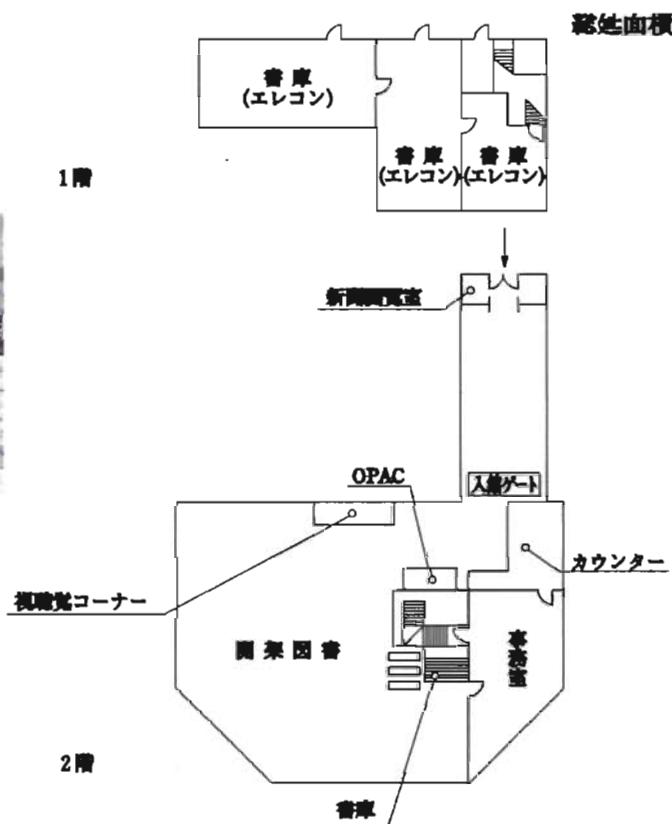
釧路館

総延面積2,312m²



岩見沢館

総延面積1,078m²



6 利用案内

1. 開館時間及び休館日

開館時間		休館日
	月曜日～ 金曜日	土・日曜日 ・祝日
札幌館		
函館館	8:30～ 22:00	10:00～ 17:00
旭川館		
釧路館		
岩見沢館	8:30～ 21:00	

2. 資料の閲覧・貸出

利用者区分	資料の貸出	
	貸出冊数	貸出期間
学部学生等	10冊以内	14冊以内
大学院生等	20冊以内	30冊以内
教職員等	20冊以内	30冊以内
利用を申し出した 学外者	5冊以内	14冊以内

3. 各種サービス

区分	サービス概要
利用案内、参考調査	館内及び資料の利用案内、読書相談、目録検索、文献調査援助
文献複写	所蔵していない資料の複写及び図書の相互貸借等のサービス
相互利用	他大学図書館、研究機関等へ閲覧・貸出・文献複写の依頼、受付
マイライブラリ	学生及び教職員については、ホームページ上で図書の借用状況の照会、文献取り寄せの申込みが可能（※要利用申請）
情報検索ガイドンス	図書館で提供しているデーターベースや電子ジャーナルの利用方法、文献検索に関するガイドンスを実施
電子ジャーナル及びデーターベース	電子ジャーナル及びデーターベースについて、館内及び全キャンパス内のPCから利用可能
一般市民への公開	一般市民の調査・研究・学習等を支援するための館内閲覧、館外閲覧、情報検索及び参考調査等の利用サービス
Web貸出サービス	北海道内学校勤務教員（小中学校、高等学校、幼稚園、特別支援学校）対象の郵送等による資料の貸出サービス

7 利用状況

1. 利用対象者数(平成24年5月1日現在)

区分		人 数
学生数	学部	5,276 (4)
	大学院	270 (18)
	教職大学院	94
	養護教諭特別別科	22
	研究生	16 (13)
	科目等履修生(学部)	41
	科目等履修生(大学院)	2
	特別聴講生	48 (47)
	小計	5,769 (84)
教職員数	教員、役員	561
	教員(非常勤)	647
	事務系職員	348
	小計	1,556
合計		7,325 (84)

()は外国人留学生で内数

4. 館外貸出(平成23年度)

館別	教職員		学生		院生		学外者		合 計	
	貸出者数	貸出冊数	貸出者数	貸出冊数	貸出者数	貸出冊数	貸出者数	貸出冊数	貸出者数	貸出冊数
札幌館	916	3,538	6,986	16,076	730	2,307	481	1,403	9,113	23,324
函館館	441	1,330	7,728	18,201	387	1,153	588	2,046	9,144	22,730
旭川館	542	1,219	7,559	19,116	605	1,893	533	1,378	9,239	23,606
釧路館	467	1,738	5,225	13,642	211	940	857	2,384	6,760	18,704
岩見沢館	192	490	3,769	7,077	318	731	98	289	4,377	8,587
合 計	2,558	8,315	31,267	74,112	2,251	7,024	2,557	7,500	38,633	96,951

5. 参考業務利用件数(平成23年度)

館別	利用者別内訳								業務内容別内訳	
	教職員	学生	院生	学外者	計	文献所在調査	事項調査	利用指導	その他	計
札幌館	16	728	86	17	847	35	10	801	1	847
函館館	103	941	18	259	1,321	396	45	880	238	1,559
旭川館	55	307	41	307	710	598	56	683	0	1,337
釧路館	18	156	4	248	426	95	11	123	197	426
岩見沢館	9	299	12	24	344	79	16	274	0	369
合 計	201	2,431	161	855	3,648	1,203	138	2,761	436	4,538

6. 文献複写件数(平成23年度)

館別	学内			学外				合 計	
	受付件数	依頼件数	合計	受付件数		依頼件数			
				大学図書館	その他	大学図書館	その他		
札幌館	441	254	695	875	56	989	84	2,004	2,699
函館館	212	372	584	291	18	986	83	1,378	1,962
旭川館	211	256	467	291	19	459	46	815	1,282
釧路館	178	151	329	217	9	406	30	662	991
岩見沢館	99	73	172	154	2	119	5	280	452
合 計	1,141	1,106	2,247	1,828	104	2,959	248	5,139	7,386

7. 図書館相互貸借・文献複写枚数(平成23年度)

館別	学内			学外			文献複写(枚数)	
	貸出冊数	借受冊数	合計	貸出冊数	借受冊数	合計	受付	依頼
札幌館	503	681	1,184	138	108	246	9,424	10,084
函館館	375	535	910	108	157	265	3,793	7,560
旭川館	326	482	808	87	139	226	2,445	5,841
釧路館	461	341	802	99	130	229	2,693	3,642
岩見沢館	291	74	365	80	10	90	1,676	1,335
合 計	1,956	2,113	4,069	512	544	1,056	20,031	28,462

8 資料

1. 分類別蔵書冊数

平成24年3月31日現在								
区分		札幌館	函館館	旭川館	釧路館	岩見沢館	計	合計
000	和書	34,362	30,179	14,566	16,413	11,194	106,714	126,047
総記	洋書	3,303	1,347	7,938	4,507	2,238	19,333	
100	和書	14,803	15,132	12,023	11,131	7,917	61,006	73,900
哲学	洋書	3,729	2,699	3,285	2,088	1,093	12,894	
200	和書	25,286	19,512	17,045	19,937	9,598	91,378	98,777
歴史	洋書	2,114	1,381	1,638	1,482	784	7,399	
300	和書	70,229	48,419	48,176	51,989	37,179	255,992	280,360
社会	洋書	9,058	5,263	4,499	3,631	1,917	24,368	
400	和書	25,575	16,691	20,273	19,620	12,157	94,316	108,513
自然	洋書	5,068	2,569	3,427	1,934	1,199	14,197	
500	和書	7,576	7,123	4,928	6,093	3,625	29,345	31,041
工学	洋書	856	177	226	257	180	1,696	
600	和書	6,406	4,364	3,311	4,008	2,877	20,966	21,898
産業	洋書	498	94	136	110	94	932	
700	和書	12,777	12,264	12,512	11,505	19,311	68,369	74,866
芸術	洋書	1,839	1,121	799	586	2,152	6,497	
800	和書	10,113	8,398	5,651	6,805	3,614	34,581	47,815
語学	洋書	4,599	3,927	1,568	1,793	1,347	13,234	
900	和書	26,804	27,647	20,317	26,179	13,686	114,633	
文学	洋書	5,004	4,968	2,729	3,574	2,113	18,388	133,021
合計	和書	233,931	189,729	158,802	173,680	121,158	877,300	
	洋書	36,068	23,546	26,245	19,962	13,117	118,938	996,238
	計	269,999	213,275	185,047	193,642	134,275	996,238	

2. 図書受入冊数(平成23年度)

館別	和書			洋書			合計
	購入	寄贈	その他	購入	寄贈	その他	
札幌館	3,614	337	0	355	77	0	4,383
函館館	2,232	1,277	0	47	56	0	3,612
旭川館	2,142	216	0	82	55	0	2,495
釧路館	2,675	1,427	0	17	29	0	4,148
岩見沢館	735	848	0	2	461	0	2,046
合計	11,398	4,105	0	503	678	0	16,684

3. 雑誌所蔵種類数

平成24年3月31日現在

館別	和雑誌	洋雑誌	合計
札幌館	8,067	895	8,962
函館館	5,812	856	6,668
旭川館	5,030	662	5,692
釧路館	4,777	517	5,294
岩見沢館	3,921	344	4,265
合計	27,607	3,274	30,881

4. 雑誌受入種類数(平成23年度)

館別	和雑誌		洋雑誌		合計
	購入	寄贈・その他	購入	寄贈・その他	
札幌館	301	495	63	20	879
函館館	238	679	49	29	995
旭川館	251	465	31	4	751
釧路館	201	719	18	25	963
岩見沢館	119	373	17	15	524
合計	1,110	2,731	178	93	4,112

5. 受入新聞種類数

平成24年3月31日現在

館別	日本語		外国語		合計
	購入	寄贈・その他	購入	寄贈・その他	
札幌館	14	3	1	1	19
函館館	10	1	3	1	15
旭川館	7	3	1		11
釧路館	9	1	4		14
岩見沢館	8	1	1		10
合計	48	9	10	2	69

6. 視聴覚機器保有台数

平成24年3月31日現在

機 器 名	札幌館	函館館	旭川館	釧路館	岩見沢館	合計
CD-ROMシステム	1					1
CD・LD装置	7	5	3	3	8	26
リーダープリンター	1	1				2
テープレコーダー	3	1	1	1		6
ビデオレコーダー	7	4	2	3	2	18
スライドプロジェクター	3					3
ボディソニック		1				1
DVDプレーヤー	5	4	3	3	4	19
ブルーレイプレーヤー		2	3	1		6
大型モニター		1		1		2

7. 視聴覚資料所蔵タイトル数

平成24年3月31日現在

資 料 名	札幌館	函館館	旭川館	釧路館	岩見沢館	合計
マイクロフィルム	18	1			4	23
マイクロフィッシュ	3				2	5
カセットテープ	35	2	54	31	2	124
ビデオテープ	435	1,201	862	754	849	4,101
スライド	31	1				32
CD・LD	174	848	212	393	1,397	3,024
DVD	565	1,068	759	1,104	909	4,405
ブルーレイ			31			31
レコード			7		363	370
35mmフィルム					11	11
合計	1,261	3,121	1,925	2,282	3,537	12,126

8. 電子出版資料

(1) 電子ジャーナル



EBSCOhost

約 800タイトル

Professional Development Collection(教育学:730誌)
General Science Collection(自然科学:77誌)
ERIC(教育学)



SpringerLink

約3,100タイトル

Springer社刊行の電子ジャーナル



ScienceDirect

約2,700タイトル

エルゼビア社刊行の電子ジャーナル

(2) オンラインデータベース & 電子ブック



オンライン事典のほかに、東洋文庫や新編日本古典文学全集・週刊エコノミストなどの書籍・雑誌記事も収録



International Encyclopedia of Education (Third Edition)

教育学に関する24領域1,350項目が収録されている国際教育百科事典(2010年刊)

(3) 新聞データベース



北海道新聞記事データベース



聞蔵 II ビジュアル(朝日新聞記事データベース)

9. 附属図書館コレクション

所蔵館	コレクション名	コレクションの概要	
全館	教科書	我が国の教科書資料を所蔵したもの 内容 (平成24年3月31日現在)	43,893冊
		・往来物 ・現行検定制度以前のもの 初等教育用教科書 中等教育用教科書 その他 ・現行検定制度下のもの	150冊 5,892冊 4,389冊 1,890冊 31,572冊
北海道教育資料		本学附属図書館が、昭和52年度から行っている「北海道教育資料収集整備計画」に基づいて収集した道内の小学校及び中学校の教育現場で使用された学校教育に関する研究報告、教育行政資料、教科書関係資料、学校・教育機関団体の沿革史・記念誌、教育家に関する資料、児童・生徒の文集・生活記録、本学に関する資料及び僻地教育に関する資料を整備所蔵したもので、収集資料の累計は80,985点 (平成24年3月31日現在) になっています。	
札幌館	沖垣資料	沖垣 寛 (北海道師範学校 (札幌校の前身) 大正2年卒業) 元小樽市立国民学校長の旧蔵資料で、昭和46年9月にご遺族から札幌館に寄贈されました。 同氏は、芦田恵之助に師事した国語教育実践者として著名であり、資料はノート、原稿、日記、著書など約500点が収集されています。	



10. 大型コレクション

文部省（現文部科学省）が昭和52年度から推進している「大型コレクション収集計画」に基づき本学附属図書館が収集した資料は、次のとおりです。

年度	所蔵館	コレクション名	コレクションの概要
昭55 外国 資料	札幌館	19世紀英國議会審議 関連資料集成 ・教育関係の部	"Irish University Press Series of British Parliamentary Papers 1801-1899, Blue Books in 1,000 Vols" うち Education の75冊 (内容) • Education General • British Museum • Fine Art • Poorer Classes • Public Librareis • Scientific Technicals 46 Vols 4 Vols 6 Vols 9 Vols 2 Vols 8 Vols
昭58 外国 資料	函館館	英國教育史関係 コレクション	19世紀後半から現代に至る英國の教育に関するモノグラフ427冊 (内容) • 高等教育 • 人物研究 • 宗教教育 • 教授法 • 評価／測定 • 教育社会学 68 冊 65 冊 19 冊 202 冊 31 冊 42 冊
昭60 国内 資料	札幌館	資料労働運動史	労働省労務行政研究所の編刊にかかる労働運動史研究の基本史料で、昭和20年から昭和55年までの全35巻
昭63 外国 資料	岩見沢館	全米記録文書 所在目録	National Inventory of Documentary Sources in the United States 全米の主要図書館、文書館、歴史協会及び大学等に所蔵されている文書、手紙、記録等の記録文書、いわゆるドキュメントの所在目録
平4 国内 資料	札幌館	物語文学資料集成 (マイクロ版)	静嘉堂文庫及び大東急記念文庫が所蔵する古典籍をマイクロフィルムに収めたもの398リール (内容) • 静嘉堂文庫所蔵 • 物語文学書集成 • 大東急記念文庫所蔵 • 古写古版物語文学総覧 付：隨筆・日記・紀行 318 リール 80 リール
平7 国内 資料	札幌館	古辞書集成 国語学資料集成 (マイクロ版)	・古辞書集成 静嘉堂文庫が収藏する平安時代及び中世に編纂された古辞書類の写本・版本や類書に、国語学者による近世から明治初期に至る辞書・類書・研究書を加えマイクロフィルムに収めたもの 178 リール ・松井簡治蒐集国語学資料集成 「大日本国語辞典」の著者、松井簡治博士の旧蔵書によって、江戸時代から明治にかけての国語学研究の基礎資料をマイクロフィルムに収めたもの 54 リール

9 研修等

平成23年度学外各種研修等の受講状況

名 称	目 的	期 間	主催・実施	受講者数
国立教育系大学図書館協議会研究部会	教育系大学附属図書館員の資質を高め、図書館業務の円滑化並びに運営の向上を図る	平成23年7月7日 ～7月8日	全国国立教育系大学附属図書館協議会 会場：大阪教育大学	札幌館1名
目録システム講習会 (図書コース)	平成23年度は、最新のWeb技術やコンテンツ、サービスに関する知識と技術を知るための研修とし、それらを活用した新たな学術情報の提供・発信サービスの企画力を身に付ける契機とする	平成23年8月3日 ～8月5日	国立情報学研究所 会場：名古屋大学	札幌館1名
著作権セミナー	著作権に関する基礎的な理解を深め、もって著作権制度の知識や意識の向上を図る	平成23年8月9日	文化庁、青森県 会場：ウェディングプラザアラスカ	札幌館1名
北海道地区大学図書館職員研究集会	北海道地区大学図書館職員の資質を高め、図書館業務の円滑化並びに運営の向上を図る	平成23年8月19日	北海道地区大学図書館協議会 会場：北海道教育大学	札幌館3名 函館館1名 旭川館1名 釧路館1名 岩見沢館1名
図書館等職員著作権実務講習会	図書館等の職員に対し実務に必要な著作権に関する知識を修得させる	平成23年8月31日 ～9月2日	文化庁 会場：京都大学	岩見沢館1名
北海道図書館大会	北海道内の図書館関係者等が館種を超えて一堂に会し、当面する今日的課題について研究協議を行い、共通理解を深めることで、多様化する社会の要るために応えるための図書館活動の充実と発展に寄与する	平成23年9月1日 ～9月2日	北海道図書館振興協議会他 会場：藤女子大学	札幌館2名
図書館総合展フォーラム	図書館関係者及び学術情報利用者に対し、講演、シンポジウム、ワークショップ等の総合フォーラムを開催して、“図書館の今後”について共に考え、「新たなパートナーシップ」の構築に取り組む	平成23年11月10日 ～11月11日	図書館総合展運営委員会 会場：横浜	札幌館1名

10 歴代館長・構成(分)館長及び室(事務)長

1. 附属図書館長

代	氏名・在職期間	所属・職名
初代	那須常正 札・教授 昭25. 7. 31～32. 5. 31	
2	山崎久藏〃 32. 6. 1～34. 3. 31	
3	河野広道〃 34. 4. 1～37. 3. 30	
4	浅井盛人〃 37. 3. 31～39. 3. 30	
5	岡野猛〃 39. 3. 31～41. 3. 30	
6	石澤三郎〃 41. 3. 31～45. 3. 30	
7	船山謙次〃 45. 3. 31～46. 8. 27	
(事務代理)	船山謙次 学長 46. 8. 27～46. 10. 20	
8	齊藤二郎 岩・教授 46. 10. 20～48. 10. 19	
(事務取扱)	船山謙次 学長 48. 10. 20～48. 11. 16	
9	柏村一郎 岩・教授 48. 11. 16～50. 11. 15	
10	小泉弘 札・教授 50. 11. 16～52. 11. 15	
11	西田秀夫 岩・教授 52. 11. 16～56. 11. 15	
12	村山登〃 56. 11. 16～60. 11. 15	
13	岡本次郎 札・教授 60. 11. 16～62. 11. 15	
14	瀧波武〃 62. 11. 16～平元. 3. 31	
15	笛嶋勇治郎 岩・教授 平元. 4. 1～5. 3. 31	
16	栄山弥壽男〃 5. 4. 1～7. 3. 31	
17	藤根信章〃 7. 4. 1～9. 3. 31	
18	櫻井兼市 旭・教授 9. 4. 1～11. 3. 31	
19	君尹彦 札・教授 11. 4. 1～14. 3. 31	
20	本間謙二 旭・教授 14. 4. 1～16. 3. 31	
21	本間謙二 理事 16. 4. 1～18. 3. 31	
22	辻井義昭 副理事 18. 4. 1～19. 8. 26	
23	山本光朗 副理事 19. 8. 27～23. 3. 31	
現	芝木邦也 副学長 23. 4. 1～	

2. 札幌館長(札幌分室運営委員長)

代	氏名・在職期間	所属・職名
札幌分室運営委員長		
初代	金子一郎 教授 昭42. 4. 1～45. 3. 31	
2	宮本實〃 45. 4. 1～46. 3. 31	
3	原崎正〃 46. 4. 1～47. 3. 31	
4	杉森正彌〃 47. 4. 1～48. 3. 31	
5	谷口富三郎〃 48. 4. 1～50. 3. 31	
6	竹内恭〃 50. 4. 1～51. 3. 31	
7	谷本一之〃 51. 4. 1～52. 3. 31	
8	奈良部理〃 52. 4. 1～55. 3. 31	
9	藤川基〃 55. 4. 1～56. 3. 31	
10	安藤忠吉〃 56. 4. 1～57. 3. 31	
11	閑谷嵐子〃 57. 4. 1～58. 3. 31	
12	春日井昭〃 58. 4. 1～59. 3. 31	
13	畠雅勝〃 59. 4. 1～60. 3. 31	
14	十亀昭雄〃 60. 4. 1～61. 3. 31	
15	古川俊英〃 61. 4. 1～62. 3. 31	
16	石井仁〃 62. 4. 1～平元. 3. 31	
17	小島喜孝〃 平元. 4. 1～2. 3. 31	
18	三谷將之〃 2. 4. 1～3. 3. 31	
19	小松淑郎〃 3. 4. 1～5. 3. 31	
20	大黒静治〃 5. 4. 1～6. 3. 31	
21	田中豪一 助手 6. 4. 1～7. 3. 31	
22	山下克彦 教授 7. 4. 1～9. 3. 31	
23	富田勤〃 9. 4. 1～10. 3. 31	
24	岡崎隆〃 10. 4. 1～11. 3. 31	
25	三谷將之〃 11. 4. 1～12. 3. 31	
26	大津和子〃 12. 4. 1～13. 3. 31	
27	高柳滋〃 13. 4. 1～14. 3. 31	
28	渡部英昭〃 14. 4. 1～16. 3. 31	
札幌館長		
29	本間謙二 理事 16. 4. 1～18. 3. 31 附属図書館長	
30	辻井義昭 副理事 18. 4. 1～19. 8. 26 附属図書館長	
31	山本光朗〃 19. 8. 27～23. 3. 31	
32	芝木邦也 副学長 23. 4. 1～24. 3. 31 附属図書館長	
現	西原千博 教授 24. 4. 1～	

3. 函館館長(函館分館長)

代	氏名・在職期間	所属・職名
函館分館長		
初代	加賀榮治 教授 昭27. 5. 1～28. 3. 31	
2	伊藤貫一〃 28. 4. 1～34. 4. 30	
3	渡邊茂〃 34. 5. 1～37. 4. 30	
4	外山定男〃 37. 5. 1～38. 4. 30	
5	押手敬〃 38. 5. 1～40. 4. 30	
6	清水清〃 40. 5. 1～44. 4. 1	
7	佐藤英吉〃 44. 4. 1～45. 3. 31	
8	舟越芳男〃 45. 4. 1～49. 3. 31	
9	叶長太郎〃 49. 4. 1～53. 3. 31	
10	澤村浩光〃 53. 4. 1～57. 3. 31	
11	鈴木正義〃 57. 4. 1～61. 3. 31	
12	安東璋二〃 61. 4. 1～平2. 3. 31	
13	田村光規〃 平2. 4. 1～6. 3. 31	
14	新里光代〃 6. 4. 1～10. 3. 31	
15	高木重俊〃 10. 4. 1～12. 3. 31	
16	今井憲一〃 12. 4. 1～14. 3. 31	
17	高木重俊〃 14. 4. 1～16. 3. 31	
函館館長		
18	夏井邦男 教授 16. 4. 1～18. 3. 31	
19	佐々木馨〃 18. 4. 1～22. 3. 31	
20	上山恭男〃 22. 4. 1～24. 3. 31	
現	杉浦清志〃 24. 4. 1～	

4. 旭川館長(旭川分館長)

代	氏名・在職期間	所属・職名
旭川分館長		
初代	坂本 富貴雄	教 授
	昭28.11. 1~ 33. 4. 9	
2	高田 秀次	"
	33. 4. 10~ 37. 3. 31	
3	土田 知雄	"
	37. 4. 1~ 43. 3. 31	
4	佐藤 日吉	"
	43. 4. 1~ 43. 6. 30	
5	高坂 直之	"
	43. 6. 30~ 47. 6. 29	
6	奥天 栄二	"
	47. 6. 30~ 52. 4. 1	
7	上條 雄也	"
	52. 4. 2~ 54. 4. 1	
8	佐々木 幸一	"
	54. 4. 2~ 58. 4. 1	
9	板津 邦夫	"
	58. 4. 2~ 平元. 4. 1	
10	上岡 宏	"
	平元. 4. 2~ 7. 4. 1	
11	長谷川 俊雄	"
	7. 4. 2~ 8. 8. 10	
12	片山 晴夫	"
	8. 8. 11~ 12. 8. 10	
13	中田 進一	"
	12. 8. 11~ 16. 3. 31	
旭川館長		
14	安藤 豊	教 授
	16. 4. 1~ 20. 3. 31	
15	中村 公子	"
	20. 4. 1~ 22. 3. 31	
16	和田 恵治	"
	22. 4. 1~ 23. 3. 31	
現	奥山 哲郎	"
	23. 4. 1~	

6. 岩見沢館長(岩見沢分館長)

代	氏名・在職期間	所属・職名
岩見沢分館長		
初代	赤岩 金太郎	教 授
	昭27. 5. 1~ 40. 6. 1	
2	野辺地 東洋	"
	40. 6. 1~ 43. 3. 31	
3	齊藤 二郎	"
	43. 4. 1~ 44. 6. 1	
4	柏村 一郎	"
	44. 6. 1~ 48. 11. 16	
5	藤波 信成	"
	48. 11. 16~ 58. 11. 15	
6	藤根 信章	"
	58. 11. 16~ 62. 11. 15	
7	阿部 秀男	"
	62. 11. 16~ 平 3. 11. 15	
8	野川 潔	"
	3. 11. 16~ 7. 3. 31	
9	鴻沼 誠二	"
	7. 4. 1~ 11. 3. 31	
10	奥野 亮輔	"
	11. 4. 1~ 14. 3. 31	
11	新田 和幸	助 教 授
	14. 4. 1~ 16. 3. 31	
岩見沢館長		
12	新田 和幸	助 教 授
	16. 4. 1~ 18. 3. 31	
13	油川 英明	教 授
	18. 4. 1~ 20. 3. 31	
14	佐藤 徹	"
	20. 4. 1~ 22. 3. 31	
現	岡嶋 恒	"
	22. 4. 1~	

5. 釧路館長(釧路分館長)

代	氏名・在職期間	所属・職名
釧路分館長		
初代	岩清水 尚	教 授
	昭27. 5. 1~ 34. 3. 31	
2	徳宿 太重	"
	34. 4. 1~ 39. 3. 31	
3	奥田 直登	"
	39. 4. 1~ 43. 3. 31	
4	田中 瑞穂	"
	43. 4. 1~ 52. 11. 1	
5	古川 史郎	"
	52. 11. 1~ 58. 6. 1	
6	岡崎 由夫	"
	58. 6. 1~ 60. 5. 31	
7	錦谷 褒	"
	60. 6. 1~ 62. 3. 31	
8	三宅 信一	"
	62. 4. 1~ 63. 12. 31	
9	本多 正孝	"
	64. 1. 1~ 平 4. 12. 31	
10	鈴木 史朗	"
	5. 1. 1~ 8. 3. 31	
11	明神 もと子	"
	8. 4. 1~ 10. 3. 31	
12	高橋 忠一	助 教 授
	10. 4. 1~ 14. 3. 31	
13	福井 凱将	教 授
	14. 4. 1~ 16. 3. 31	
釧路館長		
14	高橋 忠一	助 教 授
	16. 4. 1~ 18. 3. 31	
15	篠木 芳夫	教 授
	18. 4. 1~ 20. 3. 31	
16	石井 由紀夫	"
	20. 4. 1~ 24. 3. 31	
現	大木 文雄	"
	20. 4. 1~	

7. 学術情報室長(附属図書館事務長)

代	氏名・在職期間	所属・職名
附属図書館事務長		
初代	戸水 良	
	昭25. 9. 30~ 27. 12. 31	
(事務取扱)	那須 常正	附属図書館長
	28. 1. 1~ 28. 3. 31	
2	酒井 義章	
	28. 4. 1~ 36. 6. 30	
3	湊 盤雄	
	36. 7. 1~ 41. 6. 30	
4	小倉 幹夫	
	41. 7. 1~ 43. 8. 15	
5	長谷川 基	
	43. 8. 16~ 47. 3. 31	
6	笹原 義雄	
	47. 4. 1~ 48. 9. 28	
7	吉留 和夫	
	48. 9. 29~ 49. 3. 31	
8	小川 博	
	49. 4. 1~ 51. 3. 31	
9	菅野 利光	
	51. 4. 1~ 54. 3. 31	
10	野村 信夫	
	54. 4. 1~ 55. 3. 31	
11	知北 鷹次	
	55. 4. 1~ 57. 3. 31	
12	飯田 武	
	57. 4. 1~ 59. 3. 31	
13	菅野 利光	
	59. 4. 1~ 60. 3. 31	
14	古館 亨	
	60. 4. 1~ 61. 9. 30	
15	袋畑 義春	
	61. 10. 1~ 平3. 3. 31	
16	勝沼 芳彦	
	平3. 4. 1~ 7. 3. 31	
7	長谷川 致	
	7. 4. 1~ 9. 3. 31	
18	金子 俊之	
	9. 4. 1~ 11. 2. 28	
19	小池 昌明	
	11. 3. 1~ 13. 3. 31	
20	夏井 肅	
	13. 4. 1~ 15. 3. 31	
21	成田 和弘	
	15. 4. 1~ 16. 3. 31	
学術情報室長		
14	成田 和弘	
	16. 4. 1~ 17. 3. 31	
15	橋場 美紀雄	
	17. 4. 1~ 19. 3. 31	
16	山口 栄三	
	19. 4. 1~ 21. 3. 31	
17	阿部 実次	
	21. 4. 1~ 24. 3. 31	
現	小川 邦彦	
	24. 4. 1~	

1.1 関係規則

北海道教育大学附属図書館規則

制定平成16年4月1日
平成16年規則第20号

(趣旨)

第1条 この規則は、国立大学法人北海道教育大学運営規則（平成16年規則第17号）。

以下「運営規則」という。）第15条第2項の規定に基づき、附属図書館の組織及び運営等に關し必要な事項を定める。

(目的)

第2条 附属図書館は学生、職員、研究者及び地域の人々が必要とする学術情報資源を収集、組織化、保存、提供し、かつ、新たな価値を創生することによって、本学における教育研究活動を支援するとともに、国内外並びに地域社会における学術研究の進展及び文化の振興に寄与することを目的とする。

(構成館)

第3条 附属図書館に、これを構成する館として、札幌館、函館館、旭川館、釧路館及び岩見沢館（以下「構成館」という。）を置く。

(館長)

第4条 附属図書館長（以下「館長」という。）は、学長の監督の下に、附属図書館に関する業務を掌理する。

(構成館長)

第5条 構成館に、その長として、札幌館長、函館館長、旭川館長、釧路館長及び岩見沢館長（以下「構成館長」という。）を置く。

2 構成館長は、館長を補佐し、当該構成館の業務を掌理する。

3 学長は、次の各号のいずれかに該当する場合に、構成館長の選考を行う。

- (1) 構成館長の任期が満了するとき。
- (2) 構成館長が辞職を申し出たとき。
- (3) 構成館長が欠員となったとき。

4 構成館長の選考は、前項第1号に該当する場合は、任期満了の1月前に、同項第2号又は第3号に該当する場合は、その都度速やかに行う。

5 運営規則第2条の3に規定する副学長は、当該校の教授のうちから、構成館長候補者を学長に推薦する。

ことができる。ただし、補欠の構成館長の任期は、前任者の残任期間とする。

(図書館運営委員会)

第6条 附属図書館の円滑な運営を図るため、附属図書館に、図書館運営委員会を置く。

2 図書館運営委員会は、次に掲げる委員で組織する。

- (1) 館長
- (2) 構成館長
- (3) 各校から選出された教授又は准教授各1人
- (4) 学術情報室長

3 図書館運営委員会は、次の事項を審議する。

- (1) 運営の基本に関する事項
- (2) 中期目標・中期計画及び年度計画の実施に関する事項
- (3) 必要な規則の制定改廃に関する事項
- (4) 配分予算及び施設に関する事項
- (5) 構成館に共通の事業に関する事項
- (6) 構成館所蔵資料の共同利用の事業に関する事項

- (7) その他必要と認められる事項

4 第2項第3号の委員の任期は、2年とし、再任されることができる。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 図書館運営委員会に委員長を置き、館長をもって充てる。

6 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名した構成館長が、その職務を代理する。

7 図書館運営委員会は、委員の3分の2以上が出席しなければ、会議を開き、議決することができない。

8 議事は、出席した委員の過半数をもって決定し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

9 委員は、やむを得ない事由により出席できないときは、委員長に申し出て代理者を出席させることができる。

10 委員長が必要と認めたときは、委員以外の者を図書館運営委員会に出席させ、意見を聞くことができる。

(専門委員会)

第7条 特別の事項を調査研究するため、図書館運営委員会に、専門委員会を置くことができる。

2 専門委員会の組織及び運営については、別に定める。

(庶務)

第8条 図書館運営委員会に関する庶務は、学術情報室において処理する。

(構成館運営委員会)

第9条 構成館の円滑な運営を図るため、構成館に、それぞれ構成館運営委員会を置く。

2 構成館運営委員会は、当該校の次に掲げる委員で組織する。

(1) 構成館長

(2) 教員若干人

(3) 事務長(札幌館にあっては、学術情報室長)

3 構成館運営委員会は、当該構成館に関する次の事項を審議する。

(1) 運営の基本に関する事項

(2) 中期目標・中期計画及び年度計画の実施に関する事項

(3) 必要な規則の制定改廃に関する事項

(4) 配分予算及び施設に関する事項

(5) その他必要と認められる事項

4 この条に定めるもののほか、構成館運営委員会に関し必要な事項は、別に定める。

(個人情報の漏えい防止)

第10条 図書館資料に記録されている個人情報

(公文書等の管理に関する法律施行令第6条第5号で規定する個人情報をいう。)については、国立大学法人北海道教育大学保有個人情報管理規則(平成16年規則第165号)の規定に準じて、その漏えい防止のための措置を講ずるものとする。

(雑則)

第11条 この規則に定めるもののほか、附属図書館に関し必要な事項は、別に定める。

附則

1 この規則は、平成16年4月1日から施行する。

2 この規則の施行の日において、学長が行う構成館長の選考については、第5条第5項中「教授」とあるのは「教授又は助教授」と読み替えるものとする。

附則(平成19年3月30日平成18年規則第63号改正)

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附則(平成23年3月29日平成22年規則第41号改正)

この規則は、平成23年4月1日から施行する。

附則(平成23年4月26日平成23年規則第1号改正)

この規則は、平成23年4月26日から施行する。

附則(平成23年8月24日平成23年規則第42号改正)

この規則は、平成23年8月27日から施行する。

附則(平成24年2月7日平成23年規則第69号改正)

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

北海道教育大学附属図書館利用内規

制定平成16年4月1日

(趣旨)

第1条 この内規は、北海道教育大学附属図書館規則（平成16年規則第20号）第10条の規定に基づき、附属図書館の利用について、必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この内規において「利用」とは、次に掲げるものをいう。

- (1) 図書館資料の館内閲覧及び館外貸出
- (2) 参考調査
- (3) 文献複写
- (4) 相互利用
- (5) 附属図書館の機器及び施設の利用

2 この内規において「図書館資料」とは、附属図書館が所蔵する次に掲げるものをいう。

- (1) 図書
- (2) 逐次刊行物
- (3) 視聴覚資料
- (4) 電子的資料
- (5) 貴重資料
- (6) その他の資料

3 この内規において「利用者」とは、次に掲げる者をいう。

- (1) 北海道教育大学（以下「本学」という。）の学部学生及び館長又は構成館長（以下「館長等」という。）がこれに準ずると認めた者（以下「学部学生等」という。）
- (2) 本学の大学院生及び館長等がこれに準ずると認めた者（以下「院生等」という。）
- (3) 本学の職員及び館長等がこれに準ずると認めた者（以下「職員等」という。）
- (4) 附属図書館の利用を申し出た学外者

(図書館利用証)

第3条 附属図書館を利用しようとする者には、申し出により、図書館利用証を交付する。ただし、前条第3項第1号及び第2号に掲げる者は、学生証を図書館利用証とすることができます。

2 図書館利用証を紛失した者は、直ちに届け出、再交付を希望するときは、所定の手続により、再交付を受けることができる。

3 図書館利用証は、他人に転貸してはならない。この場合において、転貸により生じた事故の責

めは、本人が負うものとする。

(開館時間及び休館日)

第4条 開館時間及び休館日は次のとおりとする。ただし、館長等が必要と認めるときは変更することができる。

開館時間	平日 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日並びに日曜日及び土曜日	8時30分～22時00分 (岩見沢館にあっては、8時30分～21時00分)
休館日	年末年始（12月29日～1月3日） 入学試験、定期試験及び諸行事等の実施に伴い休館する日	10時00分～17時00分
休館日	館内図書整理等に伴い臨時に休館する日	

(館内閲覧)

第5条 利用者は、閲覧室等で図書館資料を自由に閲覧することができる。ただし、次に掲げる図書館資料については、所定の手続を経て、閲覧することができる。

- (1) 書庫に所蔵する図書館資料
- (2) 貴重資料
- (3) 電子的資料

2 構成館長は、閲覧室が非常に混雑している場合等、学生の学習及び教員の教育研究に支障をきたすおそれがあると認めたときは、図書館資料の閲覧を制限することができる。

(閲覧資料の制限)

第6条 前条にかかわらず、次の各号のいずれかに該当するときは、閲覧を制限することができる。

- (1) 図書館資料の原資料を利用に供することにより、当該原資料の破損若しくはその汚損を生じるおそれがある場合又は附属図書館において当該原資料が現に使用されている場合
- (2) 個人又は独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律（平成13年法律第140号。以下「情報公開法」という。）第5条第2号に規定する法人等から寄贈又は寄託を受けている場合で、当該資料の全部又は一部を一定の期間公にしないことを条件にしている場合の当該期間が経過するまでの間
- (3) 情報公開法第5条第1号及び第2号に規

定する情報（個人情報に係る部分等）が記録されていると認められる場合における当該情報が記録されている部分
(館外貸出)

第7条 利用者は、所定の手続を経て、図書館資料の貸出を受けることができる。

2 貸出資料の冊数、期間及び貸出禁止資料は次のとおりとする。ただし、館長等が必要と認めたときは変更することができる。

(1) 貸出冊数及び貸出期間

利用者区分	貸出冊数	貸出期間
学部学生等	10冊以内	14日以内
院生等	20冊以内	30日以内
職員等	20冊以内	30日以内
利用を申し出た学外者	5冊以内	14日以内

(2) 貸出禁止資料

- ア貴重資料
- イ参考図書
- ウ逐次刊行物
- エ視聴覚資料
- オその他館長等の指定した資料

3 貸出を受けた利用者は、次の各号のいずれかに該当するときは、直ちにその図書館資料を返却しなければならない。

- (1) 返却期限が到来したとき。
- (2) 本学の学部学生等、院生等及び職員等がその身分を失ったとき。
- (3) 館長等が必要と認めたとき。

(参考調査)

第8条 利用者は、学習、教育又は研究のために必要な文献調査及び情報の提供を依頼することができる。

(文献複写)

第9条 利用者は、学習、教育又は研究のため必要があるときは、所定の手続により、文献複写を依頼することができる。

2 本学の文献複写料金は、学内の構成館間の依頼でその経費を移算するものを除き、次のとおりとし、送料は、実費を徴収するものとする。

利用者区分	電子式複写（A3判以下）
学 外	1枚につき35円
学 内	1枚につき20円

(相互利用)

第10条 利用者は、学習、教育又は研究のため必要があるときは、所定の手続により、他の図書館等の利用について斡旋を依頼することができる。

2 他の図書館等から、利用の依頼があったときは、学内の利用に支障のない範囲内でこれに応ずることができる。

3 現物貸借の送料は、特別の定めがない限り、実費を徴収するものとする。

(研究室備付資料)

第11条 職員は、第7条にかかわらず、研究費等の経費によって購入した図書館資料を、研究室等に備え付けることができる。

2 職員は、前項により備え付けた図書館資料を必要としなくなったとき又は退職、転任等により、その身分を失ったときは、直ちに返却しなければならない。

3 研究室備付資料のうち、利用者から利用の申し出があったものは、支障のない限り利用に供するものとする。

(弁償責任)

第12条 利用者は、故意又は過失により、図書館資料を汚損若しくは亡失したとき又は附属図書館の施設若しくは機器に損害を与えたときは、これを弁償しなければならない。

(利用規律)

第13条 利用者は、附属図書館の利用に当たっては、図書館職員の指示に従わなければならない。

2 館長等は、図書館職員の指示に従わない者又はこの内規に違反した者に対し、利用を禁止することができる。

(雑則)

第14条 利用者の閲覧に供するため、図書館資料の目録及びこの内規を常時閲覧室内に備え付けるものとする。

2 この内規に定めるもののほか、附属図書館の利用に関し必要な事項は、別に定める。

附則

この内規は、平成16年4月1日から施行する。

附則

この内規は、平成23年4月1日から施行する。

